

## 阿部論文へのコメント

平岡 公一（お茶の水女子大学）

### 総括的なコメント

- 本研究は、相対的剥奪指標を全国データに適用した研究として、最初のものであるというだけでなく、次の点に関する配慮が行き届いていることから、貴重な研究である。
  1. 相対的剥奪指標に対する批判をふまえて、予備調査を行って、入念な手続きを経て、「社会的必需項目」の選定を行っていること。
  2. 剥奪指標の得点の算出にあたって、普及率によってウェイト付けをしていること。
  3. 相対的剥奪の頻度と深さの双方に着目して分析していること

### コメント

- 年齢別、婚姻状況別等の分析がきめ細かく行われているのは、この研究の特徴である。今後は、本人および配偶者の就業状況や職業経歴等も含む調査データを利用してさらにきめ細かな分析に取り組むことを期待したい。
  
- 「標準的なライフコースからの逸脱」と相対的剥奪のリスクとの関連を示唆する結果が得られたのは興味深い点である。この点からみると、「標準的なライフコースからの逸脱」を防止する上で社会保障制度がどのような機能を果たしているのかという観点からの分析が、社会保障制度についての分析の一つのテーマになり得るのではないだろう。
  
- 論文でも指摘されているように、ライフコース要因との関連や、相対的剥奪の状況の時間的変化を分析するためには、パネルデータの活用が望まれる。今後、このような目的に活用できるパネル調査が企画、実施されることを期待したい。